

自然へ

デザイナーたちは自然の必要性を称賛し、生態系として働くことで素材の革新を形作り心地よいデザインを刺激できることを強調しています。

生産者がスコープ3の排出量を相殺するために地元生産に目を向ける中、農業は引き続きファッションの話題の重要な部分です。

ビジネスインキュベーターのChemovatorは、産業規模での炭素排出量削減に役立つ麻ベースのプラスチック添加剤を製造するスタートアップ企業Heartlandに投資しました。デトロイトを拠点とするこの生産者は、地元の農家と協力して天然繊維素材を生産し、持続可能性の目標を支援しています。

一方、日本のデザインスタジオSozai Centerは、果肉、皮、種、茎など、リンゴのあらゆる部分から作られた、半透明の斑点のあるバイオマテリアル、Adam Sheetを開発しました。

デザイナーたちは、伝統的な技法に自然に触発されたディテールを取り入れています。フランスのアーティストデュオ、ダニエル・デュワールとグレゴリー・ジケルは、絡み合った生態系を反映するために、伝統的なバスケット作りの技法に焦点を当てています。オークトーンの質感のあるニットプルオーバーは、自然の生息地を描写し、人工の要素と並んでどのように位置しているかを反映しています。

